

今年、はじめての洪水調節を実施

- ・梅雨入り後（6月5日に梅雨入り）、本格的な降雨があり、今年のはじめての洪水調節操作を行いました。
- ・操作においては、緑川ダムへ入ってくる水量の一部を貯める（洪水調節）ことで、下流へ流す水量（ダム通過量）を最大流入時に約8割に抑えました。

- 梅雨前線の影響により、緑川ダム上流域では6月10日10時頃から雨が降り始めました。11日早朝より激しさを増し、9時から10時までの時間雨量で37.6mmを記録しました。
- 緑川ダムでは、ダムに入ってくる水量（流入量）が毎秒500立方メートル（洪水調節開始流量）に達した6月11日10時32分から、ダムへ入ってくる水量の一部を貯める操作（洪水調節）を開始しました。
- その結果、6月11日12時頃、緑川ダムへの最大流入量毎秒1202立方メートルのうち、約毎秒248立方メートルをダムへ貯留することで下流へ流す水量を毎秒954立方メートルまでに低減する操作を行いました。その結果、甲佐町の「中甲橋水位観測所」で最高水位を0.20m低下させたものと推定されます。
- ダム上流域の降雨及び洪水調節の状況は下表に示すとおりです。

項目		数値	備考
ダム上流域	総雨量	248.8mm	6/10 10:00~6/11 14:00
	平均雨量	最大1時間雨量	37.6mm
緑川ダム	最大流入量	毎秒1202立方メートル	6/11 12:00頃
	最大流入時放流量	毎秒954立方メートル	最大流入量の約8割
	最大流入時調節量	毎秒248立方メートル	
	ダム使用容量	193万立方メートル	
中甲橋※ 水位 観測所	観測最高水位	3.24m	水位危険度レベル2
	ダムが無かった場合の 最高水位(推定)	3.44m	水位危険度レベル2
	洪水調節による 水位低減量(推定)	0.20m	

※中甲橋水位観測所：河口から約26km900上流、緑川ダムから約15km下流

※ 本資料は、緑川ダム管理所ホームページ（以下のアドレス）に掲載しています。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/midori/>

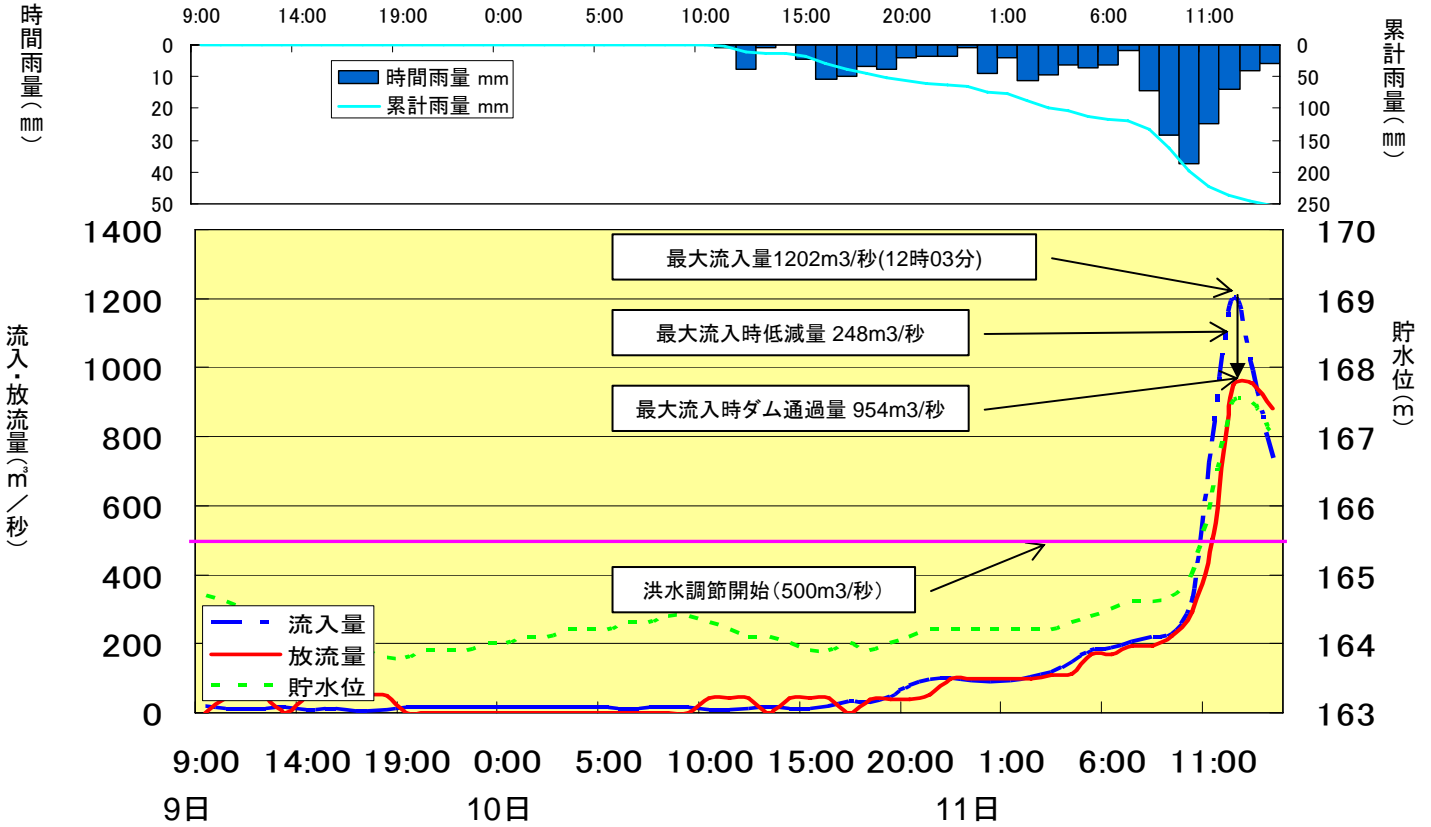
※ 速報値のため各数値は変わる場合があります。

【お問い合わせ先】

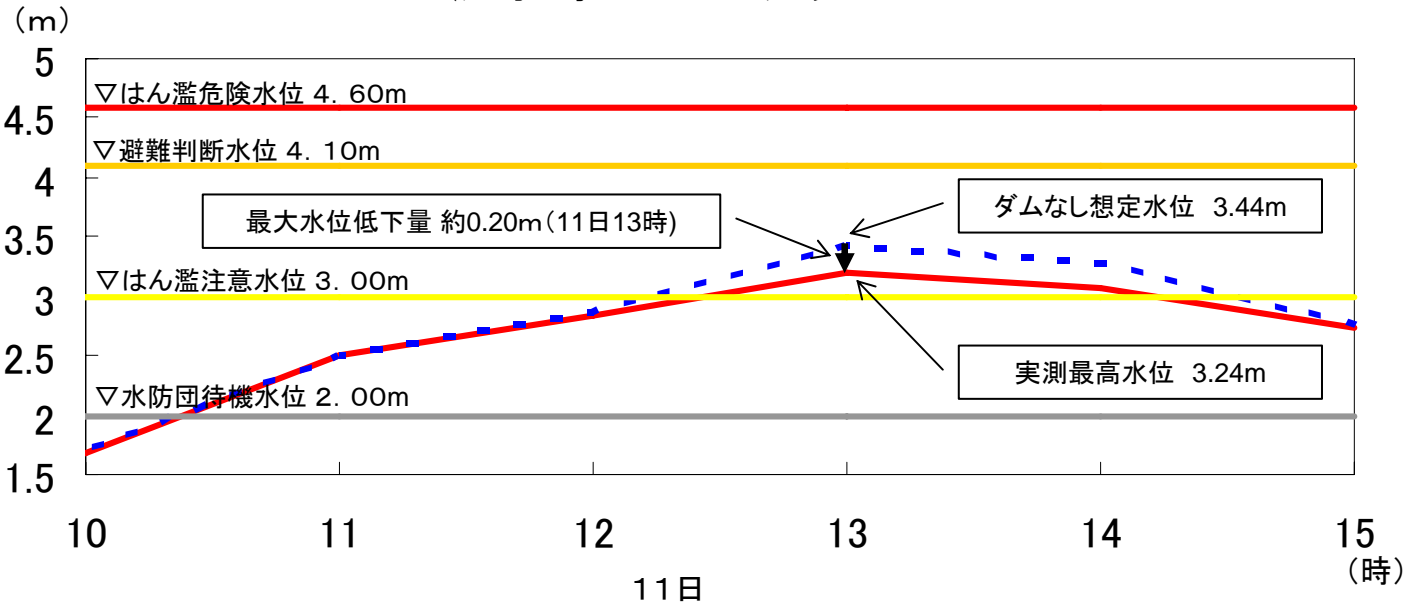
国土交通省 緑川ダム管理所
TEL : (0964)48-0216

緑川ダムの洪水調節状況(1)

最大流入時のダム通過量を約8割に抑え、 下流の水位危険度を軽減



洪水時ハイドログラフ



ダムによる水位低減効果(中甲橋)

緑川ダムの洪水調節状況(2)

最大流入時のダム通過量を約8割に抑え、 下流の水位危険度を22cm軽減

緑川ダムの洪水調節の様子
平成23年6月11日12時頃

